乗鞍岳山頂付近の電波塔から西方の稜線を望む。見晴らしのよい草原のトレイルコースに電力会社の無線中継局が見える。

高島市

乗鞍岳（のりくらだけ）

マキノの愛発越から黒河峠へ 高島トレイルの分水嶺を歩く！

日本列島の太平洋側と日本海側を分ける尾根を中央分水嶺と呼びます。その中央部にあたる、滋賀県と福井県の県境にまたがる山々を結ぶ高島トレイルは、総距離約80㎞に及ぶトレッキングコースで、ハイカーや登山者に大人気。このコーナーでも、赤坂山や大谷山を歩いてきましたが、今回はトレイルコースの始点になっているマキノの愛発越から標高865・2mの乗鞍岳を目指し、黒河峠まで歩いてみました。

愛発越は、福井県側の敦賀と滋賀県側の海津を結ぶ古道（現在国道161号）で、鈴鹿、不破と並ぶ古代の関所があったところ。県境付近には国境高原スノーパークと呼ばれるスキー場があり、このゲレンデからアプローチします。高島トレイルの稜線ルートに入ると、アップダウンはあるものの快適なトレッキングが楽しめ、ブナ林などの自然の美しさや、乗鞍岳付近の尾根からは湖北や若狭の山々、琵琶湖を望むこともできます。

ひとつ難点なのは、黒河峠から交通のアクセスがないため、最寄りのバス停までとても長い林道を歩かなければなりません。グループ登山などの場合は、2台の車を利用し、1台を下山ポイントに置いておくのもいいでしょう。

・ひとくちメモ・

グリーンパーク想い出の森で 高島トレイルフェスティバル開催

日帰りトレッキングなどを企画する高島トレイル運営協議会では、10月31日（土）、11月1日（日）に「高島トレイルフェスティバル2009」を開催します。会場は高島市朽木のグリーンパーク想い出の森。詳細は下記のホームページ、チラシなどでご確認ください。この機会に、ブナ林などの紅葉が楽しめる秋の高島トレイルを存分に満喫しましょう。

http://www.takashima-trail.jp/

ACCESS & MAP

- JR湖西線「マキノ」駅からマキノタウンバス国境線で約20分、終点「国境」下車（午前の運行は8:38、10:03発の2本のみ）。帰りは「マキノ白谷温泉」から同バスマキノ高原線で約20分、終点「マキノ駅」へ。（バス時刻は平成21年8月1日改正のダイヤ）。

▶観光に関するお問い合わせ　（社）びわ湖高島観光協会　☎0740-22-6111
（社）びわ湖高島観光協会マキノ案内所　☎0740-28-1188（月曜休）

※山行の際は、国土地理院発行の正確な地図（2万5千分1地形図など）をご使用ください。
※標高は国土地理院地形図の数値を採用。

スキー場のゲレンデを登り

愛発越登山口へ

国道161号の「国境」バス停の先にある国境高原スノーパークの入り口が高島トレイルの登山口。車止めを越えて、自販機の右のリフトの軌道に沿って、急斜面のゲレンデを登っていきます。リフト最上部の広場の奥に愛発越登山口があります。

自販機右のリフトに沿って急斜面を登る。

愛発越登山口の道標。

1
スキー場入り口にある高島トレイルの案内板。

電波塔施設のある草原の道から

芦原岳へ

山頂からさらに進むと電波塔があり、眼下に在原（ありはら）集落が見えます。草原に立つ電力会社の無線中継局を目指し、舗装された管理道から再びトレイルコースへ。ブナ混生林を抜けて鉄塔下から階段道を登ると芦原岳の分岐点。トレイルコースを西へ。

3
電波塔付近から見た在原集落。

管理道にある黒河峠への道標。

稜線コースのアップダウン

乗鞍岳から眺望を満喫

雑木林の急な山道を登って高度を上げていくと鉄塔付近で高島トレイルのメインルートに合流。ここからはアップダウンはあるものの灌木（かんぼく）などに囲まれた快適な尾根道。再び鉄塔付近から急登をはい、乗鞍岳の北尾根に取り付くと、廃置施設のある山頂に到着。

乗鞍岳山頂から東方を望む。
2

このコースは実に鉄塔が多い！何度目かの鉄塔の立つピークを経て、下って行くとまたまた鉄塔下。見通しがいいので休憩ポイントにするのもいいでしょう。やがて心地よいブナ林に入ります。猿ケ馬場（さるがばんば）と呼ばれるのはこのあたりでしょうか。

4
美しいブナ林の中を進む。

猿ケ馬場と呼ばれる

美しいブナ林を抜けて

県境の

黒河峠がゴール

最後は長い林道歩きが…

美しいブナ林を抜けると、ロープの張られた急な下りになります。足元に注意しながら先へ進むと林道に出ます。ここが黒河峠。南へ少し下ると三国山、赤坂山の登山口です。ここから坦々としたマキノ林道を1時間以上下り、麓の「マキノ白谷温泉」バス停へ。

5
トイレ施設のある黒河峠。左が赤坂山登山口。

山行日／09年8月20日
天候／晴れ
歩行距離／約12km
総時間／約6時間（休憩含む）
難易度★★★（健脚向け）